

図書館WAの主な機能

窓口業務	貸出、返却、利用者登録、資料検索、利用者検索、予約
各種随時処理	除籍者削除、除籍資料削除、資料コード削除、所蔵館状態区分一括変更
目録業務	資料登録、逐刊タイトル登録 ほか
その他の処理	利用者コメント登録、資料コメント登録
統計業務	日報、月報、年報
システム設定	休館日登録 ユーザー登録、処理権限登録、リライトカード内容登録
各種帳票印刷	予約者一覧、館コード別蔵書冊数、督促状、資料CSV出力、利用者カード印刷 ほか
蔵書点検※	無線LANを使用した移動端末による資料スキャン、不明本リスト印刷 ほか
OPAC機能※	新刊表示、資料検索、一般向け・児童向け画面切り替え、配置図(本場所)表示、Web資料検索、Web予約
学校機能※	学年別月報・年報(学年・クラス別の利用者数、貸出冊数、返却冊数、予約冊数、登録者数)、進級処理・クラス替え処理

※印が付くものは、オプションでご利用できる機能となります。

動作条件	サーバー ※ (システム、インターネット蔵書検索用)	事務、窓口端末等	利用者端末 (館内蔵書検索)
CPU(推奨)	デュアルコア 1.6GHz 以上	Intel Celeron 2.0GHz 以上	
メモリ(推奨)	2.0GB 以上	Microsoft® Windows XP : 1GB 以上 Microsoft® Windows Vista 以上 : 2GB 以上	
ディスプレイ		1024×768 以上の解像度	1024×768 以上の解像度 ※タッチパネル対応
ネットワーク		10BASE-T 以上の LAN 対応	
OS	Linux CentOS、Microsoft® Windows Server	Microsoft® Windows XP 以上	Microsoft® Windows XP 以上
webサーバー	Apache		
データベース	PostgreSQL		
ブラウザ環境		Microsoft® Internet Explore 8 以上	Google Chrome
帳票印刷		Adobe® Reader 9 以上 ※レシートプリンター使用時は、PxDoc が必要	

※プライベートクラウドでご利用する場合のサーバー動作条件です。
Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Internet Explore は米国 Microsoft Corporation およびその他の国における商標または登録商標です。Intel、Intel Celeron は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標および登録商標です。Adobe、Adobe Reader は、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標および登録商標です。その他引用された会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

図書館WAについてのお問い合わせは 0126-65-2121 まで

困ったときの安心サポート！

トラブル発生時は**電話・メール対応**のほか、**リモートアクセス※**による**スピーディなシステムサポート**を行うことが可能です。

※リモートアクセスサポートを受ける場合は、ファイアウォール設置等が必要です。

図書館システムの開発・販売**20年**の実績と経験を生かして、トラブル解決に当たります！



〔開発・販売〕

株式会社 美唄未来開発センター

〒079-0261
北海道美唄市字茶志内726番2 ハイテクセンタービル1F
Tel. 0126-65-2121 Fax. 0126-65-2122

 <http://www.bibai.net/bmc/>

※本パンフレットの内容は 2012 年 6 月現在のものです。記載内容は、予告なく変更される場合があります。

 美唄未来開発センター

クラウド型設計図書館システム



クラウド型設計で実現する “使いやすい”図書館システム

WEB上で体感できます！

**オンライン
デモページ**

こちらからどうぞ！

➡ <http://wa-demo.net-bibai.co.jp/>



クラウド型設計で実現する“使いやすい”図書館システム



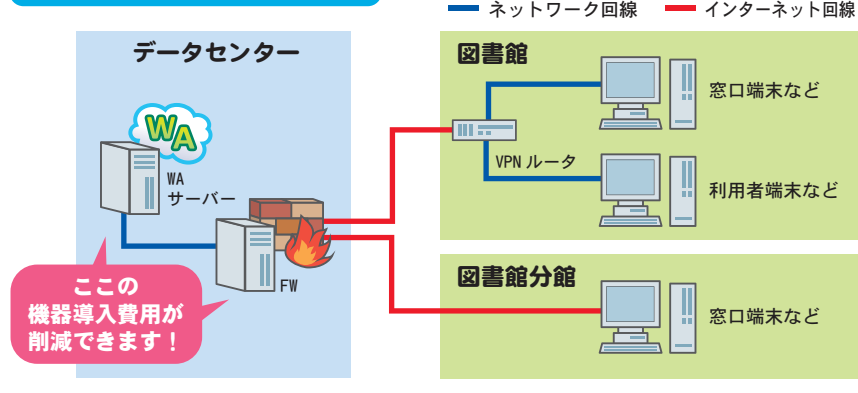
BMCが提供する「図書館WA」は、実際に弊社製品をご利用いただいている図書館様のご協力を得て、使いやすさ・効率性が飛躍的にアップしました。お客様の要望に応じた機能ニーズへの対応のほか、最新技術であるクラウド型設計・サービスを投入することにより、低予算で導入できる図書館システムです。

クラウドで実現！サーバレス運用でさらに大幅なコストダウン！ 低予算で導入できる図書館システム！

図書館WAは、サーバーに入れたシステムを各パソコンのインターネットブラウザ*からインターネット経由でアクセスして利用します。

データセンターへ委託する『サーバレス運用』を行う場合、本来必要となる機器導入費用が削減できるといったメリットがあり、低コスト運用ができて経済的です。

サーバレス運用の構成例



『クラウド型サービス』とは

クラウド型サービスとはインターネットを通じて提供されるサービスの総称です。インターネットに接続されたパソコンだけでシステムが利用できる便利なサービスです。

図書館WAのサーバレス運用は、小さな図書館や低予算での導入をお考えの方にお勧め！



サーバレス運用で5つのメリット！

★導入時の初期費用が大幅ダウン！

周辺機器の購入が不要ですので、初期費用を大幅に削減できます。

★電気代を節約できる！

節電への意識が高まっている現在の日本。機器導入を抑えることで、無駄な電力を削減できます。

★運用管理がいらない！

サーバなどのシステム機器はデータセンターが管理しますので、業務負担を減らすことができます。

★月額による早期導入が可能！

サーバレス運用の場合、簡単な手続きをするだけでご利用いただくことが可能です。

※図書館にサーバを配置するプライベートクラウド利用も可能です。

★システムインストールレスで使いやすい！

WAシステムは、パソコンにインストールする必要がないため、面倒な設定などがありません。



パソコンが壊れても大丈夫！

他のパソコンからアクセスできるからデータベース破損などの心配がありません！

クラウドで自由度が広がるよ！

パソコンのメーカーや性能に依存することなく利用できるから、お客様のご希望に沿ったご提案が可能です！

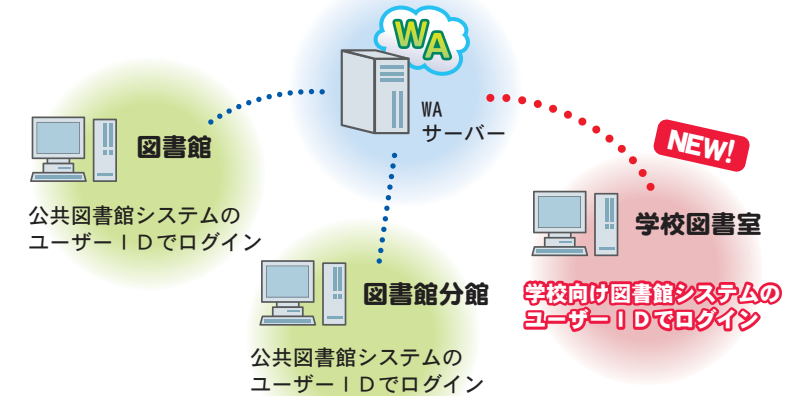
利用端末にiPadなどの最新機器も！



学校向け図書館システムと一体化！

図書館WAは、システムにログインするユーザーIDによって機能を切り替える仕組みとなっています。

学校図書館と連携したい場合は、学校向け図書館システムのユーザーIDを発行しますので、連携する学校図書館にパソコンを1台ご用意していただくだけで連携利用が可能です。



使って納得！WAの特徴

低コストだけじゃない！
図書館WAの特徴をご紹介します

ユーザビリティを意識したデザイン設計！

グリーン基調の業務画面



入力補助機能・ワンタッチボタン対応だから、作業効率があがるわ

文字が大きくて読みやすい、目に優しいデザインね！

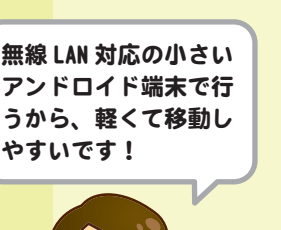
使いやすい利用者端末



漢字とひらがなをボタン一つでかえられるの！

タッチパネルでも操作できて、わかりやすいわねえ

蔵書点検



無線LAN対応の小さいアンドロイド端末で行うから、軽くて移動しやすいです！



貸出しながら資料登録ができます！

貸出時にISBNコードを読み込むことで、国立国会図書館から書名や著者名を取得し登録できます。この機能により、蔵書が整理されていない場合でも短期間で導入することができます。



利用者カードを読み込む



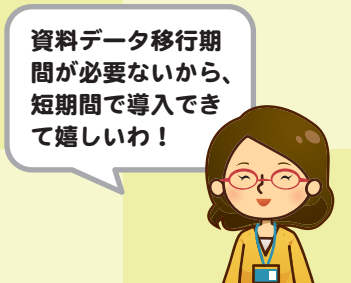
蔵書のISBNを読み込む



国立国会図書館から本のデータを取得して登録



通常の貸出処理をする



資料データ移行期間が必要ないから、短期間で導入できて嬉しいわ！